

「口腔管理体制強化加算」届出に関する実績集計手順（令和6年6月迄の申請用）

「口腔管理体制強化加算の施設基準に係る届出書添付書類（様式17の2）にて記載が必要な算定項目ごとの実績については、palette各種帳票発行の「グループ頻度表（保険処置）」等の集計結果を、転記または参考利用することが可能です。

尚、保険処置頻度表サービスをお申し込みいただいていない場合は、別途、MIC WEB SERVICEにてご利用お申し込み（月額 110円（税込））が必要です。

<集計項目一覧>

算定項目	届出記載箇所	集計内容 ※実績＝算定回数
① 歯周病安定期治療・歯周病重症化予防治療	1-①	1年間の実績
② フッ化物歯面塗布処置・エナメル質初期う蝕管理加算 (※1)	1-②	1年間の実績
③ 歯科疾患管理料(口腔機能低下症/口腔機能発達不全症の管理のみ) 小児口腔機能管理料・口腔機能管理料 (注1)(※1)	3	1年間の実績
④ 歯科訪問診療料1・歯科訪問診療料2 (※1)	5-①	1年間の実績
⑤ 診療情報提供料(I)	6-①	1年間の実績
⑥ 診療情報連携共有料	6-②	1年間の実績

※1) 届出書には令和6年6月新設保険処置も記載されていますが令和6年6月までの申請は上記項目での集計です。

注1) 歯科疾患管理料の算定回数について「口腔機能低下症」「口腔機能発達不全症」の場合のみを集計することはできませんので参考集計をご案内します。

算定状況により集計方法が異なりますので、下記「**要確認**」内容を必ずご確認の上、集計手順をご覧ください。

要確認 集計項目 ③ について

「口腔機能低下症」「口腔機能発達不全症」患者の診療において、歯科疾患管理料と**同時に**「口腔機能管理料」または「小児口腔機能管理料」を**必ず実施（算定）**している場合に限り、口腔機能管理料／小児口腔機能管理料の算定回数の集計数値を歯管回数として代用することが可能です。

Q. 該当患者の歯管算定時に必ず「口腔機能管理料」または「小児口腔機能管理料」を算定していますか？

はい

手順（A）のみ

口腔機能管理料／小児口腔機能管理料の頻度集計をおこないます

いいえ

手順（A）＋（B）

回数集計不可のため、参考資料として該当病名患者のリストアップをおこないます

■ 集計手順 (A)

<STEP 1> 算定項目ごと（集計項目一覧①～⑥）の出力対象グループを作成

1. [メインメニュー]より、[事務室業務] をクリック、[各種帳票発行]より、[グループ頻度表] の [保険処置] を選択します。
2. 「保険処置グループ頻度表」画面 が開きますので、「追加」ボタンをクリックします。

※以前に保険処置グループ頻度表の集計を利用している場合は、[出力対象のグループ]にすでにグループが作成されていることがありますが、現在の実績数値を正し集計するため、手順に沿って新たなグループの作成をおこなってください。

～ 以降グループ設定 ①～⑥ をおこないます ～

①「歯周病安定期治療・歯周病重症化予防治療」グループの作成

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「SPT/P重防」と入力します。
※グループ名称は任意
2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。
※検索項目の追加方法は、P5【検索設定手順】参照

[H01677]	200	歯周病安定期治療(1歯以上10歯未満)
[H01678]	250	歯周病安定期治療(10歯以上20歯未満)
[H01675]	350	歯周病安定期治療(20歯以上)
[H01695]	150	歯周病重症化予防治療(1歯以上10歯未満)
[H01696]	200	歯周病重症化予防治療(10歯以上20歯未満)
[H01697]	300	歯周病重症化予防治療(20歯以上)

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックします。

② 「フッ化物歯面塗布処置・エナメル質初期う蝕管理加算」グループの作成

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**フッ素**」と入力します。

※グループ名称は任意

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H01550] 110 フッ化物歯面塗布処置 (C管理)
[H01551] 110 フッ化物歯面塗布処置 (初期根面う蝕)
[H01552] 130 フッ化物歯面塗布処置 (初期う蝕)
[H00307] 260 エナメル質初期う蝕管理加算

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックします。

③ 「歯科疾患管理料（口腔機能低下症/口腔機能発達不全症）・口腔機能管理料・小児口腔機能管理料」グループの作成

！ご確認ください！

「口腔機能低下症」「口腔機能発達不全症」の場合に、歯科疾患管理料と同時に「口腔機能管理料」または「小児口腔機能管理料」を必ず算定している場合に限って必要な設定です。

P1の「要確認」にて、「手順 (A) のみ」となった場合は、この③作業をおこないます。

「手順 (A) + (B)」となった場合は、③の作業はせず④に進んでください。

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「**口腔機能管理**」と入力します。

※グループ名称は任意

[H00523] 100 口腔機能管理料
[H00522] 100 小児口腔機能管理料

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックします。

――転記の注意――

届出書には ①歯管(口腔機能低下症/口腔機能発達不全症のみ) と ②口腔機能管理料+小児口腔機能管理料 を合算した回数を記載する必要があります。

グループ頻度表で集計されるのは ② の算定回数のみですが、両者を同時に算定されている前提ですので、集計された算定回数を「×2」とした数を転記してください。

④ 「歯科訪問診療料1・歯科訪問診療料2」グループの作成

検索	追加
<input checked="" type="checkbox"/> [H00001]	0 健康診断
<input checked="" type="checkbox"/> [H00329]	0 フッ化物洗口指導加算
<input checked="" type="checkbox"/> [H00367]	0 歯科衛生実地指導料
<input checked="" type="checkbox"/> [H00465]	0 義歯調整
<input checked="" type="checkbox"/> [H00815]	0 スタディモデル(模)
<input checked="" type="checkbox"/> [H00953]	0 口腔機能精密検査
<input checked="" type="checkbox"/> [H00977]	0 有床義歯咀嚼機能検査
<input checked="" type="checkbox"/> [H01046]	0 基本検査表
<input checked="" type="checkbox"/> [H01056]	0 精密検査表

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「訪問診療」と入力します。

※グループ名称は任意

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H00401] 1100 歯科訪問診療料1
[H09115] 880 歯科訪問診療料1(20分未満)
[H00402] 361 歯科訪問診療料2
[H09116] 253 歯科訪問診療料2(20分未満)

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックします。

⑤ 「診療情報提供料 (I)」グループの作成

検索	追加
<input checked="" type="checkbox"/> [H00001]	0 健康診断
<input checked="" type="checkbox"/> [H00329]	0 フッ化物洗口指導加算
<input checked="" type="checkbox"/> [H00367]	0 歯科衛生実地指導料
<input checked="" type="checkbox"/> [H00465]	0 義歯調整
<input checked="" type="checkbox"/> [H00815]	0 スタディモデル(模)
<input checked="" type="checkbox"/> [H00953]	0 口腔機能精密検査
<input checked="" type="checkbox"/> [H00977]	0 有床義歯咀嚼機能検査
<input checked="" type="checkbox"/> [H01046]	0 基本検査表
<input checked="" type="checkbox"/> [H01056]	0 精密検査表

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「情報提供料」と入力します。

※グループ名称は任意

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H08120] 250 診療情報提供料 (I)

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックします。

⑥ 「診療情報連携共有料」グループの作成

検索	追加
<input checked="" type="checkbox"/> [H00001]	0 健康診断
<input checked="" type="checkbox"/> [H00329]	0 フッ化物洗口指導加算
<input checked="" type="checkbox"/> [H00367]	0 歯科衛生実地指導料
<input checked="" type="checkbox"/> [H00465]	0 義歯調整
<input checked="" type="checkbox"/> [H00815]	0 スタディモデル(模)
<input checked="" type="checkbox"/> [H00953]	0 口腔機能精密検査
<input checked="" type="checkbox"/> [H00977]	0 有床義歯咀嚼機能検査
<input checked="" type="checkbox"/> [H01046]	0 基本検査表
<input checked="" type="checkbox"/> [H01056]	0 精密検査表

1. [グループの作成]画面 で、[グループ名称] に「連携共有料」と入力します。

※グループ名称は任意

2. 以下の処置を全て検索項目に追加します。

[H00349] 120 診療情報連携共有料

3. 全ての項目が追加されたら [OK] をクリックします。

【検索設定手順】 ※ 追加する項目にあわせて検索点数及び選択項目を読み替えてください

例) 「200点 歯周病安定期治療 I (1歯以上10歯未満)」を追加する場合

- ① [グループの作成] 画面で、[検索]をクリックします。
- ② [項目検索] 画面が開くので、[検索文字列]に点数「200」を入力し「Enter」キーを押します。
- ③ リストから、「[H01677] 200 歯周病安定期治療 I (1歯以上10歯未満)」をダブルクリックします。
- ④ [グループの作成]画面で、「[H01677] 200歯周病安定期治療 I (1歯以上10歯未満)」が追加されたことを確認します。
- ⑤ 検索設定①～④を繰り返し、その他全ての項目を追加します。

<STEP 2> 作成したグループごとの集計

1. [保険処置グループ頻度表]画面 で、[期間を指定] をクリックし「集計期間」を「届出をおこなう月の前月から1年間」に設定し[OK]をクリックします。
※期間設定例： 令和6年5月に届出を出す場合
「令和5年5月1日 ~ 令和6年4月30日」
2. 「出力対象のグループ」に【STEP1】で作成した6つのグループ名称が表示されていることを確認し、全てのグループ名称にチェックをつけます。
注) 今回の作業以前に作成されているグループ名称が表示されている場合は、今回作成したもの以外の名称のチェックを全て外してください。
3. 期間・グループ名称のチェックが正しいことを確認し、その他のチェックを左図点線枠内のとおりを設定し [OK] をクリックします。

4. [出力先を選択してください] 画面が表示されたら、[印刷]または[プレビュー]をクリックしてください。
作成したグループ名称の集計結果が表示されますので、それぞれの「算定回数」をご確認ください。

～ 手順 (A) の作業は以上で終了です ～

結果を1年間の実績として「口腔管理体制強化加算の施設基準に係る届出書添付書類」へ転記してください

※口腔機能管理グループのみ P3 ㊦ の「転記の注意」をご確認ください※

■ 集計手順 (B)

P1の確認で「手順 (A) + (B)」が必要となった場合のみ、この作業をおこなってください。

- [メインメニュー]より、[事務室業務]をクリック、[各種帳票発行]より、[項目検索集計表]を選択します。
- 以前に項目検索集計を利用している場合は、検索項目の枠内にすでに何らかの項目が表示されていることがあります。すべて削除し左図のように空欄にしてください。
(項目をクリックし右上[削除]をクリックで削除できます)
- 項目リスト上側の「保険処置項目」をクリックし、「病名項目」を選択します。
- 病名項目リストから、「口腔機能低下症」と「口腔機能発達不全症」をそれぞれダブルクリックします。
※リストはアイウエオ順に並んでいます
- 上部枠内に、「口腔機能低下症」と「口腔機能発達不全症」の2項目が表示されたことを確認します。
- [期間を指定] をクリックし「集計期間」を”届出をおこなう月の前月から1年間”に設定し [OK] をクリックします。
※期間設定例： 令和6年5月に届出を出す場合
「令和5年5月1日 ～ 令和6年4月30日」
- [出力先を選択してください]画面が表示されたら、[プレビュー] をクリックし、印刷する場合は、画面左下の総ページ数を確認後、プリンターに必要な用紙をセットし印刷してください。
- リストには、「口腔機能低下症」と「口腔機能発達不全症」病名が入力された患者が表示されますので、この内容を参考に、歯管算定回数、口腔機能管理料、小児口腔機能管理料の算定回数について記載内容をご確認ください。

～ 以上で作業は終了です ～

手順 (A) の集計結果を1年間の実績として「口腔管理体制強化加算の施設基準に係る届出書添付書類」転記および、手順 (B) を参考に口腔機能管理に関する実績を記載してください